



# **相模原市 介護給付適正化の取組について**



## はじめに

相模原市では、国の指針に基づき、介護給付適正化の取組を進めています。  
今回は、以下の3点について説明します

1. ケアプラン点検
2. 福祉用具購入・貸与調査
3. 給付実績の活用

### ※介護給付適正化とは

- 介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要な過不足のないサービスを、事業者が適切に提供するように促すこと。
- 適切なサービスの確保とその結果としての費用の効率化を通じて介護保険制度の信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に資するもの。

# 1. ケアプラン点検

## (1) 事業の目的

ケアプランの記載内容を市職員等の第三者が点検及び支援を行うことにより、受給者が真に必要なとしているサービスを確保するとともに、その状態に適していないサービス提供を改善する。

## (2) これまでの取組

- 平成28年12月から実施
- 平成30年8月以降、神奈川県介護支援専門員協会講師を交えて本格実施

## (3) 実施方法

- ① 居宅介護支援事業所が要介護1及び2のケアプランを市に提出
- ② 市職員がケアプランの内容を確認
- ③ ケアマネジャー、市職員（事務職、専門職）、神奈川県介護支援専門員協会講師の4者で面談

※令和2年11月よりweb会議形式で実施

# 1. ケアプラン点検

## (4) 確認を必要とした事例

### アセスメントシート

- 課題分析標準項目23項目全てについての記載がなされていない。

#### 1表

- 生活に対する意向が、明確に書面に記されていない。
- 総合的な援助方針欄が、これまでの経緯や現状についてのみの記載となっている。
- 総合的な援助方針欄に、各サービスごとに提供内容が記載されている。

#### 2表

- 生活課題が、困っている現状や出来ないことのみの記載になっている。
- 生活課題⇄長期目標⇄短期目標⇄援助内容の連動、整合性が整っていない。
- 本人ではなく、サービス提供者の目標が記載されている。
- サービス内容そのものが目標になっている。
- 援助内容が、短期目標を達成するためのサービス内容という視点で記載されていない。

# 1. ケアプラン点検

## 3表

- 主な日常生活上の活動欄の記載がない。
- 介護保険サービスについてのみ記載されている。

面談における質疑においては、介護支援専門員からは、利用者の状態像や生活の意向について明確な回答がある。頭の中に入っていることを整理してケアプランに記入することに難しさを感じている介護支援専門員が多い。

## (5) 点検実績

- 令和2年度までの実績    44事業所
- 令和3年度予定            20事業所

## 1. ケアプラン点検

### (6) 面談実施後のアンケート結果

#### ① ケアプラン点検をきっかけに、振り返ったり改めて認識したりしたこと

内容	事業所数
アセスメントの重要性	24
アセスメント結果から、ニーズや課題を把握する方法	15
長期目標・短期目標の位置づけ方	23
目標を達成するためのサービス種別・内容・頻度・期間の設定方法	12
介護保険以外のインフォーマルサービスを活用すること	7
利用者自身の能力を活用すること	19
自立支援に資するケアプランとなっているかどうか	13
利用者及び家族への説明の仕方	6
サービス事業所へのアプローチ方法	5
ケアプラン表の表現方法	22

#### ② ケアプラン点検をきっかけに見直しを行ったケアプランについて

ある（または今後見直す予定）・・・30事業所      ない・・・1事業所

## 2. 福祉用具購入・貸与調査

### (1) 事業の目的

福祉用具の必要性や利用状況について点検することにより、不適切又は不要な購入・貸与を防止し、受給者の身体の状態に応じた福祉用具の適正利用を促進する。

### (2) 調査方法

- 軽度者に対する福祉用具貸与（例外給付）申請及び介護給付適正化システムにより調査対象者を抽出し、訪問調査を実施
- 訪問調査は、市職員（事務職・理学療法士）で行い、ケアマネジャー立ち合いのもと、生活状況、福祉用具の必要性及び利用状況等について確認し、必要がある場合は今後の利用方法等について助言する。

### (3) スケジュール

令和3年度から順次実施

## 3. 給付実績の活用

### (1) 事業の目的

「認定データ」と「給付実績データ」を活用して、不適切な給付を発見し修正することで、適正なサービス提供と介護費用の効率化を図る。

### (2) これまでの取組

令和2年7月に介護給付適正化システムを導入し、令和2年度は2回（10月・1月）調査を実施

### (3) 調査実績

No	区分	10月実施	1月実施
①	サービス提供事業所の給付実績がないが、居宅介護支援又は介護予防支援費が給付されているもの	26事業所 31件	16事業所 19件
②	重度の寝たきり状態の被保険者に対し、不必要と思われる福祉用具貸与があるもの	101事業所 497件	—
③	短期入所が月に20日以上が複数月あるもの	—	106事業所 317件



### 3. 給付実績の活用

#### (4) 調査結果

##### ① サービス提供事業所の給付実績がないが、居宅介護支援又は介護予防支援費が給付されている。

- 原因** ● 居宅介護支援事業所の支援費請求誤り ⇒ 過誤申請で対応  
● サービス提供事業所の未請求

##### ② 重度の寝たきり状態の被保険者に対し、不必要と思われる福祉用具貸与がある。

- 原因** ● 認定調査時は寝たきり状態であったが、その後回復により歩行用・リハビリ用で福祉用具貸与必要となった。  
● 徘徊感知機器をベッドからの転倒防止・安否確認用として貸与

##### ③ 短期入所が月に20日以上が複数月ある。

- 原因** ● 施設入所待機中による長期利用

#### (5) 令和3年度の実施

令和2年度中の提供サービスについて、調査を実施する予定